市議会だより

市議会第1回定例会

平成22年市議会第1回定例会を、2月24日から3月19日までの24日間開催しました。

この定例会では総額578億539万円の平成22年度予算14件、平成21年度補正予算7件、条例関係14件、一般議案13件、諮問5件、議員提案10件、その他4件合わせて67件を審議しました。審議日程は次のとおりでした。

▼**2月24日**の本会議1日目は、会期を24日間と決めた後、国の2次補正に伴う一般会計補正予算（第7号）を緊急経済対策に係る補正予算特別委員会を設置し審査の後、可決しました。次に、市長から新年度施政方針および議案の提案説明を受けました。また、人事案件として、公平委員会の委員の選任、人権擁護委員の推薦について同意しました。

▼**3月3日**の本会議2日目は、関市特別職職員の給与に関する条例の一部改正についてなど18件を可決しました。また、条例改正および補正予算などの議案についてなど13件をそれぞれ所管の各常任委員会に、平成22年度一般会計予算外13件の新年度予算は、特別委員会に付託しました。午後から代表質問と一般質問を行い、通告者14人のうち4人が、当局の姿勢や方針について質問をしました。

▼**3月4日**の本会議3日目は5人が、一般質問を行いました。

▼**3月5日**の本会議4日目は5人が、一般質問を行いました。

▼**3月8日から17日**は付託案件の委員会審査（総務厚生委員会8日、文教経済委員会10日、建設委員会11日、新年度予算特別委員会12日、15日、16日、17日）を行いました。

▼**3月19日**の本会議5日目は、各常任委員長、新年度予算特別委員長から付託案件の委員会審査結果の報告が行われ、採決の結果、各委員長の報告のとおり可決されました。

また、追加議案4件と議員提案10件を審議し、今定例会に付議された案件をすべて議了し、閉会しました。

質問

第4次行政改革大綱

質問　行政改革大綱の実現は

答弁　行政改革大綱では、市民との協働による行政運営の推進、効率的な行財政システムの確立、職員の意識改革と質の高い行政サービスの提供、という3つの基本方針に基づいて平成7年度から取り組んでいます。

市政運営の仕組みそのものを変え、単なる減量、削減の行政改革にとどまらず、「いま、市に何が求められているか。」など将来を見据えた政策の優先度の見極めをし、限られた経営資源の重点的、効率的な配分を決めるシステムづくりを進めているところです。第4次行政改革大綱の実現に向け、具体的な取り組みと実施年度を明らかにする推進計画を作成し、PDCAサイクル（計画―実施―評価―改善）により、担当する部署が自主的、かつ主体的に取り組んでいます。

まちづくり

質問　「安全・安心なまちづくり」施策の現況は

答弁　マニフェストで掲げた5つの基本施策のうち、最も力を入れている「安全・安心」をキーワードに、市民目線に立ち各種の施策・事業を行っています。

主な事業として、医療体制の充実では、平成20年4月に初期夜間急病診療支援室を中濃厚生病院内に開設し、急病の小児患者を中心に平日の夜間に診察をしていただいています。また、平成21年度から、毎週土曜日、中濃厚生病院で急病小児患者を中心とした診察に対し支援しています。

平成22年1月20日には、市民活動支援センターを、わかくさ・プラザ学習情報館2階に開設し、ボランティア団体などの活動支援や組織化、法人設立などのお手伝いを行っています。2月1日にスタートした子育て支援サポート券制度は、0歳から3歳児までの乳幼児を持ち、祖父母が同居していない家庭を対象に、家事・育児に精通したベテランスタッフを派遣します。

また、全国に先駆けて防災バス「あんしん号」を平成21年4月に導入しました。自然災害時および火災・洪水などの緊急事態時の関係者の移動、資材搬送などの後方支援や平常時は防災意識向上のための研修などに活用しています。

財政

質問　財政健全化プランの公表はどうなっているのか

答弁　第4次総合計画と連動した財政シミュレーションは、毎年の決算統計を基に長期的な傾向の分析、将来予測を行い、国の施策や市の事情などを加味して作成します。

昨年の10月時点では、税収減や国の新年度施策・事業仕分けの見通し、地方の財源不足の確保など不確定な要素が多く、中長期的な予測が非常に困難な状況であったため、作成を一旦中断し、平成22年度予算案ができてから再開しています。

そのため、平成21年度内に予定していた公表が遅れていますが、地方交付税が平成27年度から5年間で20億円以上減少することに変わりはなく、政策総点検の結果を推進するためにも、市の財政状況や見通しを市民の方々に理解していただくことが不可欠であり、早期に公表できるようにします。

合併特例債

質問　合併特例債の発行額と今後の計画は

答弁　合併特例債は、新市建設計画に基づいて行なう事業や基金の積立に要する経費について、合併年度およびこれに続く10カ年度に限り、その財源として借り入れることができる地方債です。新市建設計画の176事業のうちすでに約87％の事業に着手し、本年度までの発行額は、57億2990万円を予定しています。

今後も、引き続き住民の安心安全に係る事業を積極的に推進し、防災行政無線整備や小中学校および関商工高校の耐震化事業を実施します。また、地域振興に係るソフト事業を推進するため地域振興基金の造成を実施し、その基金利子を原資に市民活動の促進を図りたいと考えています。

さらに、市役所東に計画している健康福祉交流施設整備事業にも活用を検討したいと考えています。

AED（自動体外式除細動器）

質問　「いざという時のために」普及推進は

答弁　AEDは、公共施設97カ所に設置してあり、設置場所についてホームページで確認することができます。

平成20年度から中学1年生を対象にCPR（心肺蘇生法）やAEDのトレーニングキットを使った授業を実施しています。また、職員を対象に普通救命講習会を行い、AEDの取り扱いを学び、来年度には全ての職員が講習を終える予定です。

市民を対象とした講習会は、命をつなげる会中濃と中濃消防組合が開催しており、今後も関係機関と連携し普及活動に努めていきます。

女性特有のがん検診

質問　子宮頸（けい）がんワクチン予防接種の公費助成を

答弁　8月末にがん検診の無料クーポン券と検診手帳を交付したところ、9月以降受診者が増加し、昨年度に比べて受診率が向上しました。これは、無料クーポン券と検診手帳を配布したことによる効果であり、来年度も引き続き事業を継続していきます。

子宮頸がんを防ぐには、従来どおり検診を受けるとともにワクチンを接種することにより、大きな効果があると言われています。

今後はワクチン接種の公費助成について検討します。

受動喫煙防止対策

質問　取り組み強化は

答弁　県には「健康づくりの店推進事業」という制度があり、市内の飲食店11店舗、コンビニ13店舗が登録し、受動喫煙の防止などに取り組んでいます。市民のみなさんが、健康づくりの店に関心を持つことも、受動喫煙防止対策の推進の大きな機会になると考えています。

ニコニコ生き生きプランにありますように、今後も市内の多くの人が利用する施設において喫煙防止に向けた取り組みを積極的に行っていただけるよう、広報、インターネットなどで啓発するとともに、県と協力しながら受動喫煙防止対策を進めていきたいと考えています。

武儀、上之保診療所

質問　今後の医療体制は

答弁　両診療所は、現在地域医療振興協会からそれぞれ医師1人の派遣を受けています。しかし、全国的な厳しい医師不足により、市は医師確保のため、引き続き協会への支援をお願いしています。

この地域での診療を継続するため、可能な限りの努力をし、地元住民の皆さんに不安のない医療体制に向けて取り組んでいきたいと考えています。

それにより診療や往診などのサービス体制の確保、中濃厚生病院との連携、保健・福祉との協力体制の確立をめざし協会と協議を行います。

また、住民がバスの乗り継ぎをしないで診療所に通えるよう、バス交通網の再編も検討していく予定です。

子育て支援

質問　留守家庭児童教室の開室時間の充実

答弁　利用時間は、授業終了後から午後6時まで、夏休み期間は、午前8時30分から午後6時までとなっていますが、実際にはそれぞれの教室の児童指導員などの厚意により、柔軟な対応がされています。

しかし、このような状況は、指導員の負担となることや開室時間の拡大を望む保護者からの要望も寄せられていることなどから、夏休みの開室時間を30分早めて午前8時からとなるよう、施設を管理している各学校や運営委員会などとの協議を進めています。

今後、施設の管理体制などが整い次第、実施していく予定です。

学校給食申込書

質問　給食申込書の導入は必要か

答弁　学校給食は、栄養のバランスがとれた食事として、成長期にある児童生徒の健康保持、増進と食事のマナーや望ましい食習慣の形成など、食育の生きた教材として重要な役割を担っています。

保護者には、食材費を給食費として納入していただいておりますが、期限内に納めていただけない方が一部いらっしゃいます。

この状況を全保護者、市、学校の問題としてとらえ、給食費を負担していただく仕組みや意義について、改めてお互いに理解し合うことが、安全でおいしい給食を提供する制度維持のためには必要であると考え、期限内に納入していただくための確認として、平成22年4月以降について、保護者から申込書の提出をしていただくことにしました。

介護保険事業

質問　地域協働による見守りネットワークの状況は

答弁　ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の見守りが必要とされる方については、民生児童委員、福祉委員および保健センター職員などと連携を図り、見守りを行っています。

高齢者数の増加とともに認知症の方の増加も予想され、認知症高齢者の見守りには地域の皆さんの協力が必要と考えています。

今後は、地域や職域などで認知症高齢者やその家族の見守りを支援する「認知症サポーター」を養成し、見守りネットワークを組織化するとともに地域の見守り体制を強化していきます。

国民健康保険税

質問　引き上げの根拠は

答弁　高齢化の進展と医療技術の高度化に伴う医療費の増加が著しく、単年度の収支で平成19年度から続いている赤字を補てんするために、約11億円の基金を取り崩して対応してきました。その基金も残りわずかとなり、長引く景気低迷により平成22年度の所得基準額の増加も見込めない中での税率改正は、被保険者のみなさんに負担を強いることになりますが、単年度収支を黒字にできるまでの大幅な改正にはならない必要最低限の引き上げであるためご理解いただきたいと考えています。

法務局関出張所

質問　移転問題のその後の対応は

答弁　当初、平成21年9月に予定されていた美濃加茂支局への統合による関出張所廃止もなく今日に至っています。昨年12月には新政権に対し、美濃加茂支局への統合を再考し、八幡支局管内と関出張所管内を統合し、現在の関出張所所在地に関支局を設置してほしいとする要望を、民主党岐阜県第3区党支部を通して行いました。また、今年2月26日には岐阜地方法務局長に直接要望を行っています。

今後も引き続き機会あるごとに関係機関に要望したいと考えています。

審議の結果

◎2月24日承認・可決・同意分ほか

▼緊急経済対策に係る補正予算特別委員会の設置・同委員会委員の選任▼新年度予算特別委員会の設置・同委員会委員の選任▼専決処分の承認（平成21年度一般会計補正予算（第6号））▼平成21年度一般会計補正予算（第7号）▼公平委員会の委員の選任▼人権擁護委員の推薦

◎3月3日可決分

▼条例の一部改正《特別職職員の給与に関する条例・職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例・職員の退職手当に関する条例・特別会計条例・土地開発基金条例・財政状況公表に関する条例・手数料徴収条例・公共奉仕活動等災害見舞金支給条例・地区公民センター設置及び管理に関する条例》▼公の施設の指定管理者の指定について《中濃公設地方卸売市場・道の駅ラステンほらど・道の駅むげ川・道の駅平成・富野ふれあいセンター・上之保生涯学習センター・篠田桃紅美術空間・洞戸高賀山自然の家》▼財産の無償譲渡について（迫間台公民センター（移設前））

◎3月19日可決・同意分

▼債権管理条例の制定について▼児童手当等支給条例の全部改正について▼条例の一部改正《国民健康保険税条例、自然体験施設条例、少年自然の家設置及び管理運営に関する条例》▼市道路線の廃止について▼工事請負契約の締結について（地域情報通信基盤整備推進交付金事業　関市ブロードバンド施設整備工事）▼平成21年度関市一般会計補正予算（第8号）▼平成21年度特別会計補正予算《国民健康保険（第3号）・下水道（第4号）・財産区（第2号）・介護保険事業（第4号）・後期高齢者医療（第2号）》▼平成22年度一般会計予算▼平成22年度特別会計予算《国民健康保険・下水道・財産区・中小企業従業員退職金共済事業・食肉センター事業・老人保健・農業集落排水事業・公設地方卸売市場事業・介護保険事業・簡易水道事業・有線放送事業・後期高齢者医療》▼平成22年度上水道事業会計予算▼監査委員の選任について▼教育委員会の委員の任命について▼副市長の選任について▼関市議会委員会条例の一部改正について▼市議第2号関市議会議員定数条例の制定について▼子どもたちの命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種を求める意見書▼東海北陸自動車道四車線化の早期実現を求める意見書▼核兵器の廃絶を求める意見書▼改正国籍法の厳格な制度運用を求める意見書

◎3月19日否決分

▼子ども手当の全額国庫負担を求める意見書▼政治資金規正法の制裁強化を求める意見書▼所得税法第56条の廃止を求める意見書

◎3月19日議決不要分

▼市議第3号関市議会議員定数条例の制定について

関市議会議員定数条例

▼関市議会議員定数条例の制定については、2本の議案が提出され、先に提案された「市議第2号」が賛成多数で可決されたため、「市議第3号」は議決不要となりました。可決された条例は、次々回の市議会議員選挙から大選挙区で実施し、議員定数25人（現行と同じ）とする内容です。

◎次の定例会は、

6月7日(月)の予定です。

照会先　**議会事務局**　☎㉓9068

ホームページ www.city.seki.gifu.jp/gikai